

資材系電力ビジネスプロトコル標準

I . 解 説 編

Ver. 3B-02

平成26年3月

電気事業連合会

目次

1.	改定にあたって.....	1
1.1.	改定の背景	1
1.2.	改定の目的	1
1.3.	標準書の体系	1
2.	特徴および主な変更点.....	2
2.1.	標準電子取引参照モデルの参照.....	2
2.2.	業務の構造の変更	2
2.3.	業務の継承	3
2.4.	EDI利用モデルの追加.....	3
2.5.	データ形式の変更	5
2.6.	情報またはビジネスアクションに関する変更点.....	6
2.6.1.	情報の削除	6
2.6.2.	ビジネスアクションの追加	7
2.6.3.	情報区分コードの変更	7
2.6.4.	メッセージフォーマットの変更	8
2.7.	データ項目に関する変更点.....	8
2.7.1.	データタグ番号の変更	8
2.7.2.	データ項目名の変更	8
2.7.3.	データ項目の属性変更	8
2.7.4.	データ項目の削除	9
2.7.5.	データ項目の追加	13
2.7.6.	データ項目の統合	21
2.8.	共通コードに関する変更点.....	22
2.8.1.	共通コードの削除	22
2.8.2.	共通コードのコード追加	22
2.8.3.	SAP関連共通コードの変更	23

1. 改定にあたって

本書では、電気事業連合会で定める資材系電力ビジネスプロトコル標準の改定に伴い、改定の全体像について解説する。

本標準で使用する用語については「VI. 資料編 用語一覧」を参照すること。

1.1. 改定の背景

BP2xの制定より年月が経過し、その間、安価で高速なインターネットの普及が進展するなかで、電力各社においてはVANなどを前提とした従来型ファイル転送が減少し、Web-EDIによる取引が増加していった。Web-EDIは導入が容易であるため広く普及しているが、多画面問題などいくつかの問題点が指摘されており、電力業界においても例外ではなかった。また、Web-EDI化の過程で、BP2xに記載のない独自の情報やデータ項目などの利用が散見される状態となってしまった。

このような状況の中で、インターネットの利用を想定したファイル転送を実現するEDI仕様を定義し、不足する情報やデータ項目などを取込む必要性が増していた。さらに、ブラウザではないクライアントを利用したファイル転送を実現するEDI仕様も登場してきており、多画面問題などの解決に向けて、そのような新たなEDI仕様に対する考慮の必要性も増していた。

1.2. 改定の目的

不足する情報やデータ項目などを取込み、インターネットを前提とした新たなEDI仕様に変更することにより、電力会社およびその取引先間における資材系のEDI取引業務をより円滑なものとする。

1.3. 標準書の体系

今回の改定で作成する標準書の体系を表1-1に示す。

表1-1 標準書の体系

編名	説明
I. 解説編	本書。 標準の位置づけ、BP3xにおける特徴および、BP2xからの主な変更点を説明する。
II. 業務編	資材系のEDI取引業務におけるビジネスモデルを定義する。また、ビジネスアクションに使用するビジネスドキュメントを定義する。
III. 技術編	ebXMLの仕様、本標準で採用する定義などを説明する。
IV. 共通コード編	BPで使用する共通コードを定義する。
V. ビジネスドキュメント編	データ項目の一覧、ビジネスドキュメントの構成を定義する。
VI. 資料編	用語集、新旧用語対応表、ビジネスモデル一覧。

2. 特徴および主な変更点

BP3xでは複数の資材系のビジネスプロトコル標準を統合し、BP2xに定義される業務の単位、データ項目、共通コードについて見直しを行った。

また、インターネットを用いたEDIに適したデータ形式および伝送手順への変更を行った。

2.1. 標準電子取引参照モデルの参照

BP3xでは国際標準である標準電子取引参照モデル(Open-edi Reference Model, ISO14662、JISX7001)によって定義されている、ビジネス運用ビュー（以下BOVとする）と機能サービスビュー（以下FSVとする）の2層構造を参照している。

2.2. 業務の構造の変更

BP2xに定義されていた業務の単位は、図 2-1 に示すように業務の構造を変更した。変更にあたっては、UN/CEFACTおよびOASISが発行する Business Process and Business Information Analysis Overview (v1.0、2001年)に示されるビジネスプロセスの概念を用いた。

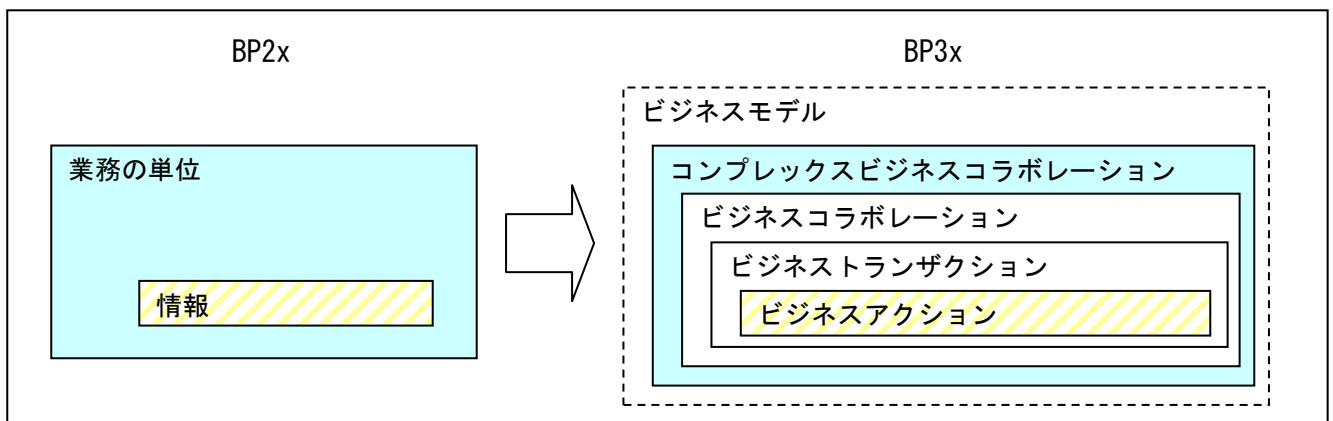


図 2-1 業務の構造

図 2-1 で記載した用語の略称を、表 2-1 に記載する。

表 2-1 略称一覧

BP3xでの名称	BP3xでの略称
ビジネスモデル	BM
コンプレックスビジネスコラボレーション	CBC
ビジネスコラボレーション	BC
ビジネストランザクション	BT
ビジネスアクション	BA

2.3. 業務の継承

BP3xでは、基本的にBP2xの業務を継承している。図 2-2に記載するように、4つのビジネスプロトコル標準を統合し、BP2xの各ビジネスプロトコル標準に定義されている業務の集合をビジネスモデルとした。ビジネスモデルの詳細な定義内容は「Ⅱ. 業務編」を参照すること。

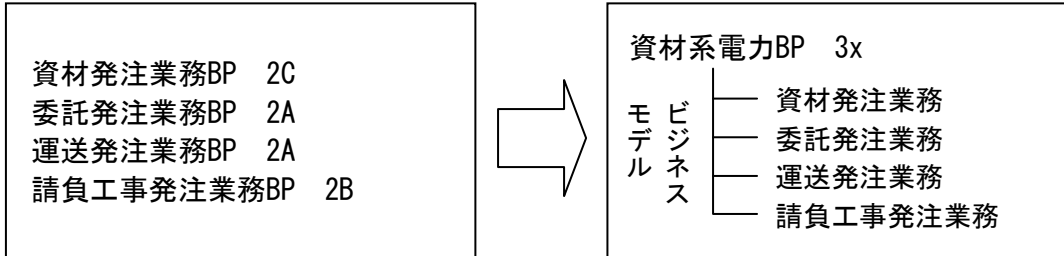


図 2-2 ビジネスプロトコル標準の統合

2.4. EDI利用モデルの追加

BP2xでは、サーバtoサーバ方式(Push型)のみに対応していたが、一般に中小企業ではサーバを設置・運用する要件を満たすことは困難である。そこで、BP3xではクライアントtoサーバ方式(Pull型)にも対応する。BP3xで使用可能なEDI利用モデルの種類と特徴を表 2-2に記載する。

表 2-2 EDI利用モデルの特徴

サーバtoサーバ方式 (Push型)	クライアントtoサーバ方式 (Pull型)
Push型は、イベント発生と同時にメッセージを受け取れるという速報性に優れている。常にメッセージを受信待ちし、24時間稼働、インターネット常時接続、DMZ(非武装地帯)でのサーバ運用が必要である。	常にクライアント(通常は一般的なPCを想定)から、サーバにアクセスする。

BP3xで利用できるモデルを図 2-3 およびに図 2-4 に記載する。

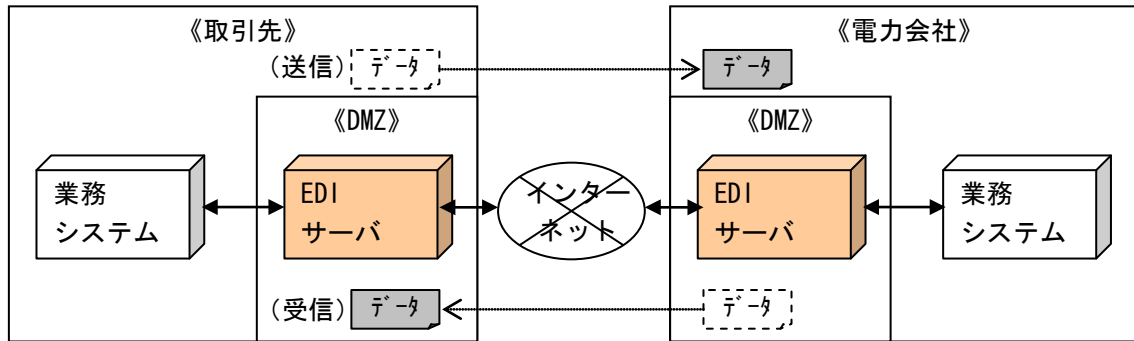


図 2-3 サーバtoサーバ方式 (Push型)

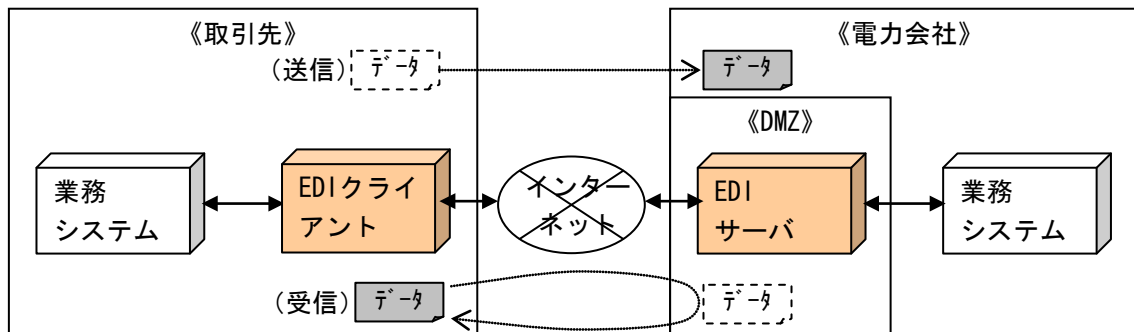


図 2-4 クライアントtoサーバ方式 (Pull型)

BP3xでは、クライアントtoサーバ方式(Push型)にも対応するために、伝送手順を表 2-3 に示すように変更した。伝送手順の詳細は「Ⅲ. 技術編」を参照すること。

表 2-3 伝送手順

BP2x の伝送手順	BP3x の伝送手順
JCA 手順等	ebXML

2.5. データ形式の変更

BP3xでは、インターネットを用いたEDIに適したデータ形式に変更した。データ形式を表 2-4 に示す。

表 2-4 データ形式

BP2x のデータ形式	BP3x のデータ形式
CII 標準	XML 形式

XML形式のメッセージは、図 2-5に記載するように、通信に必要な情報を含む。メッセージ構造の詳細は「Ⅲ. 技術編」を参照すること。

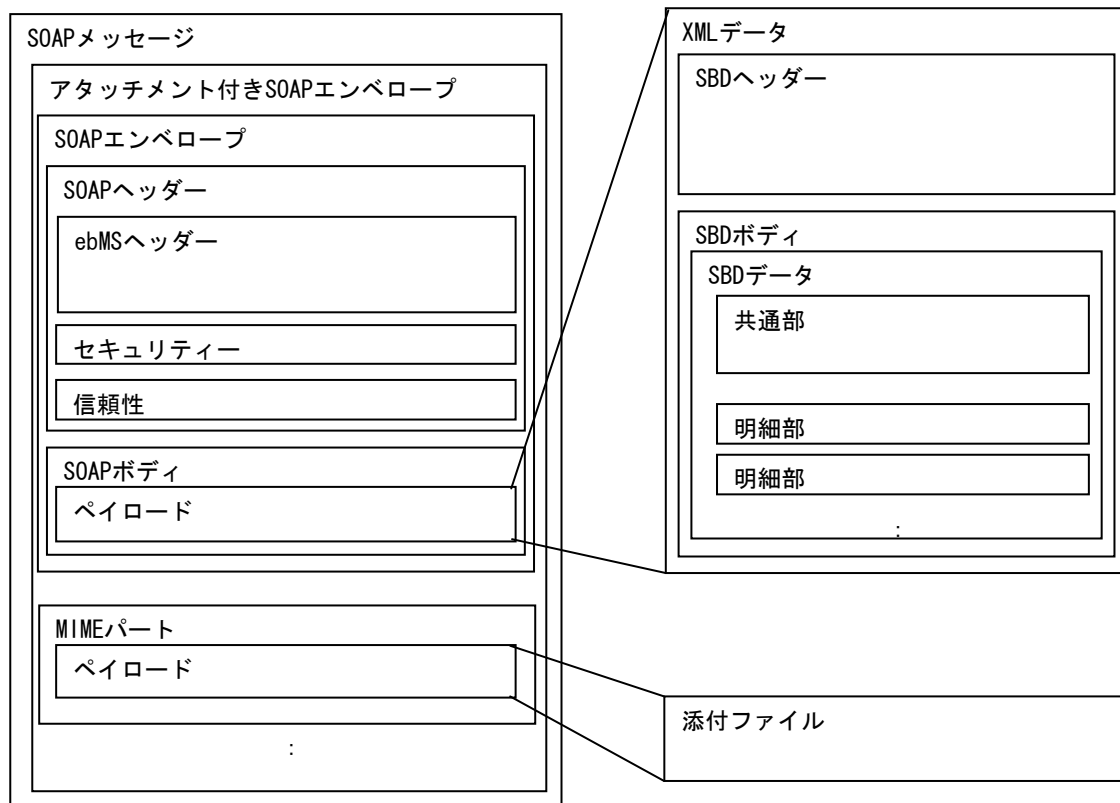


図 2-5 メッセージ構造と名称

2.6. 情報またはビジネスアクションに関する変更点

2.6.1. 情報の削除

使用されていない情報を削除した。削除された情報を表 2-5に記載する。

表 2-5 BP3xで削除された情報

ビジネス プロトコル	業務の単位	情報
資材発注業務	仕様書承認図	購入・修理仕様
		納入仕様
	計画	所要計画
		生産計画
		引渡計画
	修理	加工依頼
		引渡受領
		修理不能
		入荷
検収	検収・銅精算	
状況確認	実績確認	
請負工事発注 業務	施行 工事着工	施行 工事着工
	工事内容変更依頼	工事内容変更依頼
	検査・検収	出来高・竣工報告
委託発注業務	検収	報告

2.6.2. ビジネスアクションの追加

業務に必要なビジネスアクションを追加した。追加されたBAを表 2-6に記載する。なお、BP3xでは図 2-1に示すように、情報という名称はビジネスアクションに変更している。

表 2-6 BP3Aで追加されたBA

BM	CBC	BA
資材発注業務	計画	購入計画
		計画購入通知
		計画購入請
	見積	見積開封結果
		見積依頼（リース）
		見積（リース）
	修理・加工	仮出確認
		仮出残高明細
		修理依頼品返却
		修理結果
	検収	検収・納入（貯蔵品）
		検収兼振込通知
	別送情報送付	別送資料送信
別送資料受信		
請負工事発注業務	見積	見積開封結果
	注文	建設リサイクル受信
		建設リサイクル送信
		工事注文取消
		工事注文取消請
	検査・検収	検収兼振込通知
別送情報送付	別送資料送信	
	別送資料受信	
委託発注業務	見積	見積開封結果
		再見積依頼
		再見積回答
	注文	業務発注取消
		業務発注取消請
	契約変更	契約変更再見積依頼
		契約変更再見積回答
	検収	検収兼振込通知
別送情報送付	別送資料送信	
	別送資料受信	
依頼	技術員招請依頼	
注文	技術員招請注文	
運送発注業務	見積	見積回答
	運送依頼	運送依頼請

2.6.3. 情報区分コードの変更

BP3xでは、情報区分コードをビジネスアクションIDと名称変更し、すべて再付番を行った。詳細は「Ⅱ. 業務編」を参照すること。

2.6.4. メッセージフォーマットの変更

BP3xでは、メッセージフォーマットをビジネスドキュメント（以下BDとする）と名称変更した。各BDで使用するデータ項目を整理した。

必須項目およびマルチ項目については、取引当事者間で取決めることとする。ビジネスドキュメントの詳細な定義内容は「V. ビジネスドキュメント編」を参照すること。

2.7. データ項目に関する変更点

2.7.1. データタグ番号の変更

BP3xでは、データタグ番号をデータ項目IDと名称変更した。また、データ項目IDによってどのバージョンで追加されたかを区別できるように、桁数を4桁から5桁に変更し再付番した。BP2xに定義されているデータ項目は、データ項目IDの最初に0を付与して継承した。再付番されたデータ項目IDは「V. ビジネスドキュメント編」を参照すること。

2.7.2. データ項目名の変更

データ項目名を以下のように変更した。変更後のデータ項目名は「V. ビジネスドキュメント編」を参照すること。

- ・ 文字列は、内容により末尾を「名」または「記入欄」で統一した。
- ・ 電力業界で策定したコードを示すデータ項目名は、末尾を「区分コード」で統一した。

2.7.3. データ項目の属性変更

データ項目の属性を以下のように整理した。変更された属性の詳細は「V. ビジネスドキュメント編」を参照すること。

- ・ ID（BAIDとBPIDのみ）は文字列に統一した。
- ・ 日付、時刻、コード、番号は文字列に統一した。
- ・ 金額、額、単価は数値に統一した。
- ・ 数量、数、量は数値に統一した。

また、データ項目のサイズについて以下のように整理した。

- ・ 現在の利用状況をもとにサイズの修正を行った。
- ・ 文字列のサイズの定義は、バイトではなく文字数とした。

2.7.4. データ項目の削除

使用されていないデータ項目を削除した。削除されたデータ項目を表 2-7に記載する。

表 2-7 BP3Aで削除されたデータ項目

データタグ番号	データ項目名
5256	工事内容変更依頼番号
5262	付託内容区分コード
5264	工事内容変更区分コード
5266	官庁検査有無区分コード
5267	発注者代表者名
5274	見積依頼時分
5283	共同企業体区分コード
5285	共同企業体構成会社区分コード
5286	共同企業体構成会社名
5291	見積説明会開催年月日
5110	見積説明会問合せ電話番号
5296	現場説明会問合せ電話番号
5312	査定総金額(税込)
5316	着工届提出年月日
5318	工事内容変更依頼年月日
5322	前回変更工期(着工期日年月日)
5323	前回変更工期(竣工期日年月日)
5326	着工保留年月日
5327	着工解除予定年月日
5328	着工解除年月日
5329	施工中断年月日
5330	施工中断再開予定年月日
5331	施工再開年月日
5095	検査予定年月日
5339	竣工(出来高)報告提出年月日
5344	出来高申請年月日(前回)
5345	出来高申請年月日(今回)
5350	支払請求総金額(前回迄)
5352	支払請求総金額(累計)
5356	工事残高総金額
5357	保留金解除額総金額
5358	出来高総金額百分率(前回迄)
5359	出来高総金額百分率(今回)
5360	出来高総金額百分率(累計)
5361	設計変更計上額総金額
5363	添付図書必要部数
5366	見積総金額共同工事内訳(当社分)
5367	見積総金額共同工事内訳(他社分)
5368	査定総金額共同工事内訳(当社分)
5369	査定総金額共同工事内訳(他社分)
5370	請負総金額共同工事内訳(当社分)
5371	請負総金額共同工事内訳(他社分)
5372	原契約総金額共同工事内訳(当社分)
5373	原契約総金額共同工事内訳(他社分)
5374	差引増減総金額共同工事内訳(当社分)

データタグ番号	データ項目名
5375	差引増減総金額共同工事内訳 (他社分)
5376	出来高総金額(前回迄)共同工事内訳(当社分)
5377	出来高総金額(前回迄)共同工事内訳(他社分)
5378	出来高総金額(今回)共同工事内訳(当社分)
5379	出来高総金額(今回)共同工事内訳(他社分)
5380	出来高総金額(累計)共同工事内訳(当社分)
5381	出来高総金額(累計)共同工事内訳(他社分)
5382	支払請求総金額(前回迄)共同工事内訳(当社分)
5383	支払請求総金額(前回迄)共同工事内訳(他社分)
5384	支払請求総金額(今回)共同工事内訳(当社分)
5385	支払請求総金額(今回)共同工事内訳(他社分)
5386	支払請求総金額(累計)共同工事内訳(当社分)
5387	支払請求総金額(累計)共同工事内訳(他社分)
5388	保留金総金額(前回迄)共同工事内訳(当社分)
5389	保留金総金額(前回迄)共同工事内訳(他社分)
5390	保留金総金額(今回)共同工事内訳(当社分)
5391	保留金総金額(今回)共同工事内訳(他社分)
5392	保留金総金額(累計)共同工事内訳(当社分)
5393	保留金総金額(累計)共同工事内訳(他社分)
5394	工事残高総金額共同工事内訳 (当社分)
5395	工事残高総金額共同工事内訳 (他社分)
5396	保留金解除総金額共同工事内訳 (当社分)
5397	保留金解除総金額共同工事内訳 (他社分)
5403	見積数量
5407	前回変更数量
5408	今回変更数量
5409	原契約との差引数量
5411	出来形数量(前回迄)
5413	出来形数量(累計)
5427	出来高金額(前回迄)
5429	出来高金額(累計)
5430	支払請求金額(前回迄)
5431	支払請求金額(今回)
5432	支払請求金額(累計)
5433	保留金(前回迄)
5434	保留金(今回)
5435	保留金(累計)
5436	工事残高(累計)
5437	保留金解除額
5438	設計変更計上額
5439	出来高金額百分率(前回迄)
5440	出来高金額百分率(今回)
5441	出来高金額百分率(累計)
5444	見積金額共同工事内訳(当社分)
5445	見積金額共同工事内訳(他社分)
5448	原契約金額共同工事内訳(当社分)
5449	原契約金額共同工事内訳(他社分)
5450	請負金額共同工事内訳(当社分)
5451	請負金額共同工事内訳(他社分)
5452	差引増減共同工事内訳(当社分)
5453	差引増減共同工事内訳(他社分)

データタグ番号	データ項目名
5454	出来高金額(前回迄)共同工事内訳(当社分)
5455	出来高金額(前回迄)共同工事内訳(他社分)
5456	出来高金額(今回)共同工事内訳(当社分)
5457	出来高金額(今回)共同工事内訳(他社分)
5458	出来高金額(累計)共同工事内訳(当社分)
5459	出来高金額(累計)共同工事内訳(他社分)
5460	支払請求金額(前回迄)共同工事内訳(当社分)
5461	支払請求金額(前回迄)共同工事内訳(他社分)
5462	支払請求金額(今回)共同工事内訳(当社分)
5463	支払請求金額(今回)共同工事内訳(他社分)
5464	支払請求金額(累計)共同工事内訳(当社分)
5465	支払請求金額(累計)共同工事内訳(他社分)
5466	保留金(前回迄)共同工事内訳(当社分)
5467	保留金(前回迄)共同工事内訳(他社分)
5468	保留金(今回)共同工事内訳(当社分)
5469	保留金(今回)共同工事内訳(他社分)
5470	保留金(累計)共同工事内訳(当社分)
5471	保留金(累計)共同工事内訳(他社分)
5472	工事残高共同工事内訳(当社分)
5473	工事残高共同工事内訳(他社分)
5474	保留金解除額共同工事内訳(当社分)
5475	保留金解除額共同工事内訳(他社分)
5476	設計変更計上額共同工事内訳(当社分)
5477	設計変更計上額共同工事内訳(他社分)
5567	消費税額合計
6102	見積依頼番号SAP
6103	注文番号SAP
179	納入時分
5015	回答要求年月日
5023	引渡年月日(自)
5029	見積総金額
5040	修理内容区分コード
5041	修理品区分コード
5055	修理可能数量
5056	修理不能数量
5058	検査合格累計数量
5064	検査予定数量
5066	修理・加工未着手残高数量
5070	見積単価
5081	所要(生産)年月日(自)
5082	所要(生産)年月日(至)
5087	荷造前検査有無区分コード
5089	引渡条件区分コード
5090	引渡受領年月日
5096	修理残高確認年月日
5113	支給品前回残高数量
5114	今回支給数量
5117	支給品今回繰越残高数量
5130	見積有効年月日
5139	内訳単位修理内容区分コード
5141	製造番号

データタグ番号	データ項目名
5142	検査場所名
5144	検査結果書類提出予定年月日
5145	立会検査合格数量
5146	書類検査合格数量
5147	立会検査不合格数量
5148	書類検査不合格数量
5152	納期確認年月日（納期回答年月日）
5155	出荷工場区分コード
5157	車両番号
5159	支払箇所区分コード
5160	支払箇所名
5182	加工品残高数量合計
5183	製品加工仕掛数量合計
5184	加工品残高数量
5185	製品加工仕掛数量
5014	修理・加工完了年月日
5052	引渡数量（引渡受領数量）
5054	修理・加工不要品引渡数量（修理・加工不要品受領数量）
5079	所要（生産）旬
5092	確認納入年月日（回答納入年月日）
5112	支給品当月初残高数量
5115	当月納入重量換算数量
5116	支給品当月引当数量
5118	当月不足分購入数量
5136	引渡年月
5137	引渡旬
514	運送業者コード
6101	消費税区分コード
6008	見積説明会開催日時記入欄
6009	入札会開催日時記入欄
6012	住所記入欄（受注者）
6015	取引先区分コード
6021	実施場所名
6032	辞退・摘要コメント記入欄
6033	添付資料コメント記入欄
6034	添付資料書類区分コード
6035	添付資料書類名
6036	添付資料送付経路区分コード
6037	添付資料媒体区分コード
6058	付託金額計
6067	付託番号
6068	付託年月日
6069	竣工区分コード

2.7.5. データ項目の追加

業務に必要なデータ項目を追加した。追加されたデータ項目を表 2-8 に記載する。

表 2-8 BP3Aで追加されたデータ項目

データ項目 ID	データ項目名
11001	注文金額計 (税込)
11002	見積依頼種別区分コード
11003	発生年度
11004	EDI 業務区分コード
11005	契約種別区分コード
11006	原契約注文番号
11007	一括決済番号
11008	一括組数
11009	質問受付期限年月日時分
11010	見積提出書類・部数記入欄
11011	工事・作業説明年月日時分
11012	原契約注文年月日
11013	予定工事・委託年月日時分 (自)
11014	予定工事・委託年月日時分 (至)
11015	検査方法名
11016	見積依頼箇所郵便番号
11017	見積依頼箇所住所記入欄
11018	見積依頼担当者 FAX 番号
11019	担当者メールアドレス (発注者)
11020	特記事項記入欄
11021	事業所区分コード
11022	事業所名 (室・部)
11023	担当部署名
11024	内訳番号
11025	売却区分コード
11026	工事・委託項目名
11027	内訳原契約工事・委託年月日時分 (自)
11028	内訳原契約工事・委託年月日時分 (至)
11029	内訳予定工事・委託年月日時分 (自)
11030	内訳予定工事・委託年月日時分 (至)
11031	添付ファイル番号
11032	添付書類番号 1
11033	添付図書提出部数
11034	媒体形式区分コード
11035	媒体形式名
11036	送付方法区分コード
11037	送付方法名
11038	回答部署名
11039	売却見積金額合計
11040	見積回答備考記入欄
11041	回答工事・委託年月日時分 (自)
11042	添付書類番号 2
11043	注文種別区分コード
11044	追加注文番号
11045	売却契約金額合計

データ項目 ID	データ項目名
11046	契約書類名
11047	契約箇所郵便番号
11048	契約箇所住所記入欄
11049	契約担当者 FAX 番号
11050	担当者メールアドレス（受注者）
11051	契約管理箇所名
11052	内訳工事・委託年月日時分（自）
11053	内訳工事・委託年月日時分（至）
11054	支払年月（中間払）
11055	契約金額（中間払）
11056	支払種別名
11057	EDI I 注文履歴番号
11058	注文回答コメント記入欄
11059	検収内訳番号
11060	同一案件検収回数
11061	最終検収区分コード
11062	支払年月（検収）
11063	検収金額合計（税込）
11064	売却契約金額合計
11065	売却検収金額合計
11066	売却検収消費税額
11067	売却検収金額合計（税込）
11068	同一案件見積管理番号
11069	複数社契約条件名
11070	希望搬入期限年月日時分
11071	希望据付・調整・試験年月日時分（自）
11072	希望据付・調整・試験年月日時分（至）
11073	希望納期年月日時分
11074	納入場所名
11075	売却内訳番号
11076	売却物品取得年月日
11077	引渡年月日
11078	添付ファイル名
11079	回答搬入期限年月日時分
11080	回答据付・調整・試験年月日時分（自）
11081	回答据付・調整・試験年月日時分（至）
11082	売却内訳金額合計
11083	売却補正金額
11084	契約金額合計
11085	搬入期限年月日時分
11086	据付・調整・試験年月日時分（自）
11087	据付・調整・試験年月日時分（至）
11088	契約書類区分コード
11089	内訳メーカー名
11090	納入年月日
11091	売却予定年月日
11092	売却年月日
11093	担当者名
11094	納入可否区分コード
11095	保留金率
11096	予算件名

データ項目 ID	データ項目名
11097	保留金打切率
11098	見積注意事項記入欄
11099	数量見積区分コード
11100	基本契約締結年月日
11101	単価協定年月日
11102	仮契約締結年月日
11103	見積依頼条件内容記入欄
11104	単価契約箇所名
11105	重量精算区分コード
11106	覚書締結年月日
11107	仮単価注文年月日
11108	メーカー名(製造会社名)
11109	納期確認依頼年月日
11110	納期確認順位
11111	注文予定金額計
11112	注文予定単価
11113	選定伺決定年月日
11114	注文伺決定年月日
11115	招請依頼技術員実働延べ人員
11116	派遣場所名
11117	招請依頼技術員稼動日数
11118	請求承認年月日
11119	請求担当者電話番号
11120	派遣開始年月日(依頼)
11121	派遣完了年月日(依頼)
11122	注文金額計(税抜)
11123	派遣開始年月日(実績)
11124	派遣完了年月日(実績)
11127	業務説明会開催場所名
11128	開封結果
11129	最低見積総金額
11130	変更区分コード
11131	原契約受渡箇所名
11132	原契約受渡年月日(白)
11133	原契約受渡年月日(至)
11134	原契約物品区分コード(発注者)
11135	原契約品名・仕様記入欄
11136	原契約単位区分コード
11137	原契約予定年月日
11138	原契約貯蔵品区分コード
11139	原契約受渡条件区分コード
11140	原契約検収条件区分コード
11141	原契約購入仕様書有無区分コード
11142	原契約見積仕様書要否区分コード
11143	原契約見積付帯条件添付有無区分コード
11144	原契約見積説明会有無区分コード
11145	原契約支払条件区分コード
11146	原契約数量変動幅
11147	原契約保証年数
11148	修理依頼年月日
11149	交付年月日

データ項目 ID	データ項目名
11150	社検書審査申請数
11151	情報種別区分コード
11152	検収年月
11153	件数
11154	検収兼振込通知区分コード
11155	技術（仕様）審査区分コード
11156	通常・金額未定発注区分コード
11157	設計込区分コード
11158	購入修理区分コード
11159	原契約工事場所名
11160	原契約実施場所名
11161	原契約購入修理区分コード
11162	請求番号
11163	発行年月日時分秒
11164	整理区分コード
11165	請負工事請求箇所区分コード
11166	請負工事請求箇所名
11167	請負内容変更区分コード
11168	回答区分コード
11169	請求番号枝番
11170	上長名（発注者）
11171	注文内示要否区分コード
11172	発注合否区分コード
11173	発注条件内容・仕様不合格理由記入欄
11174	見積価格単位
11175	注文内示請書受領年月日
11176	有償支給額
11177	WBS 区分コード
11178	支払期日名
11179	支払開始年月
11180	注文請書受領年月日
11181	納入依頼承認年月日
11182	単価契約品目区分コード
11183	金融機関預金種目名
11184	契約者会社区分コード
11185	契約者会社名
11186	請求者会社区分コード
11187	支払方法名
11188	決済期間+WBS 区分コード
11189	伝票タイプ名
11190	リース期間（自）
11191	リース期間（至）
11192	リース仕様書有無区分コード
11193	見積金額内訳書区分コード
11194	委託加工区分コード
11195	賃貸借開始年月日
11196	賃貸借終了年月日
11197	賃貸借資産使用場所名
11198	請書タイプ区分コード
11199	注意事項記入欄
11200	見積用備考記入欄 1

データ項目 ID	データ項目名
11201	見積用備考記入欄 2
11202	見積用備考記入欄 3
11203	見積用備考記入欄 4
11204	建設リサイクル区分コード
11205	公証要否区分コード
11206	請書送信区分コード
11207	しゅん工区分コード
11208	検収回数
11209	見積依頼番号枝番
11210	見積依頼区分コード
11211	物品用関連情報記入欄
11212	グリーン調達区分コード
11213	原契約納工期年月日(自)
11214	原契約納工期年月日(至)
11215	納工期変更決定年月日
11216	納工期区分コード
11217	配給区分コード
11218	明細納入区分コード
11219	支払金額小計(税込)
11220	内示通知番号
11221	計画購入通知年月日
11222	計画購入通知書題名
11223	計画箇所区分コード
11224	計画箇所名
11225	取引先支店区分コード
11226	受渡指示番号
11227	受渡指示年月日
11228	取消区分コード
11229	指示変更区分コード
11230	払出箇所区分コード
11231	払出箇所名
11232	受渡担当者名
11233	受渡指示数量
11234	仮卸先名
11235	引上予定年月日
11236	修理会社区分コード
11237	修理会社名
11238	仮出/仮出精算年月日
11239	仮出先区分コード
11240	仮出先名
11241	仮出数量
11242	仮出精算数量
11243	仮出残高数量
11244	仮出残高明細出力年月
11245	受払年月日
11246	修理指示書類番号
11247	修理指示書類名
11248	受入数量
11249	払出数量
11250	現品残高数量
11251	引取指示番号

データ項目 ID	データ項目名
11252	引取予定年月日
11253	受入箇所区分コード
11254	受入箇所名
11255	修理指示番号(年度)
11256	成績表番号 1
11257	成績表番号 2
11258	引上年月日
11259	トランス修理品名区分コード
11260	修理年月日
11261	気温
11262	合計 - 拡張明細番号
11263	製造番号
11264	製造年月
11265	修理完了・不能区分コード
11266	トランス修理区別区分コード
11267	トランス修理者名
11268	修理年月
11269	外観・構造検査良否区分コード
11270	極性良否区分コード
11271	変圧比(一次電圧)
11272	無負荷電流 (%)
11273	変圧比(二次電圧)良否区分コード
11274	無負荷電流良否区分コード
11275	絶縁抵抗良否 - P-E(MΩ)区分コード
11276	絶縁抵抗良否 - S-E(MΩ)区分コード
11277	絶縁抵抗良否 - P-S(MΩ)区分コード
11278	耐圧 - P-SE(良否)区分コード
11279	耐圧 - S-PE(良否)区分コード
11280	気密良否区分コード
11281	塗装膜厚良否区分コード
11282	誘導耐電圧良否区分コード
11283	総合判定良否区分コード
11284	修理不能理由区分コード
11285	修理不能理由(その他)記入欄
11286	成績表備考記入欄
11287	不能報告書備考記入欄
11288	識別区分コード
11289	精算金額合計
11290	精算金額(明細単位)
11291	総明細数
11292	建設リサイクルバージョン番号
11293	建設リサイクル様式区分コード
11294	工程 1_作業内容区分コード
11295	工程 1_分別解体等方法区分コード
11296	工程 1_分別解体等の方法併用理由記入欄
11297	工程 2_作業内容区分コード
11298	工程 2_分別解体等方法区分コード
11299	工程 2_分別解体等の方法併用理由記入欄
11300	工程 3_作業内容区分コード
11301	工程 3_分別解体等方法区分コード
11302	工程 3_分別解体等の方法併用理由記入欄

データ項目 ID	データ項目名
11303	工程 4_作業内容区分コード
11304	工程 4_分別解体等方法区分コード
11305	工程 4_分別解体等の方法併用理由記入欄
11306	工程 5_工程内容記入欄
11307	工程 5_作業内容区分コード
11308	工程 5_分別解体等方法区分コード
11309	工程 5_分別解体等の方法併用理由記入欄
11310	工程 6_工程内容記入欄
11311	工程 6_作業内容区分コード
11312	工程 6_分別解体等方法区分コード
11313	工程 6_分別解体等の方法併用理由記入欄
11314	解体工事費用（金額）
11315	特定建設資材廃棄物再資源化等費用（金額）
11316	特定建設資材廃棄物種類記入欄
11317	リサイクル施設名
11318	リサイクル施設所在地記入欄
11319	注文書明細要否区分コード
11320	施工会社区分コード
11321	発注者郵便番号
11322	住所記入欄（発注者）
11323	秘密保護区分コード
11324	納入場所住所記入欄
11325	銅建値単価
11326	到着場所住所記入欄
11327	適用要綱名
11328	取引先事業所名
11329	見積方式名
11330	後日指値区分コード
11331	受渡条件変更区分コード
11332	明細変更追加区分コード
11333	精算条件区分コード
11334	明細要否区分コード
11335	依頼コメント記入欄
11336	金額変更区分コード
11337	単価・金額表示要否区分コード
11338	数量表示要否区分コード
11339	契約明細合意有無区分コード
11340	工種・仕様変更区分コード
11341	添付区分コード
11342	見積方式区分コード
11343	品名・仕様変更区分コード
11344	単位変更区分コード
11345	数量変更区分コード
11346	見積総額合計金額
11347	消費税額総合計
11348	予定納入・据付完了年月日
11349	延滞補償条件区分コード
11350	建値基準年月日
11351	契約取消区分コード
11352	発送場所変更区分コード
11353	工事場所変更区分コード

データ項目 ID	データ項目名
11354	支払条件変更区分コード
11355	工期変更区分コード
11356	数量変更区分コード
11357	設計変更区分コード
11358	発注内示番号
11359	特約条項区分コード
11360	主契約番号
11361	関連契約数
11362	統合区分コード
11363	主材料単位名
11364	主材料名
11365	契約要綱区分コード
11366	契約代表件名
11367	案件管理番号
11368	情報区分細分番号
11369	変更前内示注文年月日
11370	変更前受渡年月日（自）
11371	変更前受渡年月日（至）
11372	変更前工期（着工期日年月日）
11373	変更前工期（竣工期日年月日）
11374	変更前支払条件区分コード
11375	変更前予定納入・据付完了年月日
11376	承認者名
11377	工事件名管理番号
11378	工事件名
11379	施工件名管理番号
11380	施工件名
11381	変更前受渡箇所名
11382	変更前受渡条件区分コード
11383	変更前受渡条件名
11384	変更前工事場所名
11385	変更前運送区間記入欄（自）
11386	変更前適用要綱名
11387	変更前納入場所住所記入欄
11388	変更前到着場所住所記入欄
11389	初回依頼年月日
11390	変更前注文数量
11391	変更前注文単価
11392	変更前注文金額計
11393	変更前請負数量
11394	変更前請負単価
11395	変更前請負金額
11396	明細表示順番号
11397	地配統合区分コード

2.7.6. データ項目の統合

BP2xにおいて類似するデータ項目を統合した。統合されたデータ項目を表 2-9に記載する。

表 2-9 BP3Aで統合されたデータ項目

統合前のデータ項目名 (データ項目 ID)	統合後のデータ項目名 (データ項目 ID)
見積説明会開催年月日 (5291)	見積説明会開催年月日 (05106)
見積説明会開催年月日 (5106)	
見積数量 (5403)	見積数量 (05050)
見積数量 (5050)	
消費税額合計 (5567)	消費税額合計 (05033)
消費税額合計 (5033)	
見積依頼番号 SAP (6102)	見積依頼番号 (00072)
見積依頼番号 (72)	
注文番号 SAP (6103)	注文番号 (00007)
付託番号 (6067)	
注文番号 (7)	
見積総金額 (5029)	見積総金額 (05307)
見積総金額 (5307)	
見積単価 (5070)	見積単価 (05417)
見積単価 (5417)	
消費税コード (6101)	消費税区分コード (00057)
消費税コード (57)	
受注者住所 (6012)	住所記入欄 (受注者) (05278)
受注者住所 (5278)	
取引先コード (6015)	受注者コード (00005)
受注者コード (5)	
付託金額計 (6058)	見積依頼金額 (05073)
見積依頼金額 (5073)	
付託年月日 (6068)	注文年月日 (05011)
注文年月日 (5011)	

2.8. 共通コードに関する変更点

2.8.1. 共通コードの削除

未使用の共通コードを削除した。削除した共通コードを表 2-10に記載する。

表 2-10 BP3Aで削除された共通コード

データ項目 ID	データ項目名
0514	運送業者コード
5087	荷造前検査有無区分コード
5266	官庁検査有無区分コード
6034	添付資料書類区分コード
6036	添付資料送付経路区分コード
5262	付託内容区分コード
5264	工事内容変更区分コード
5002	メーカーコード

2.8.2. 共通コードのコード追加

業務に必要なコードを追加した。追加したコードのみ、表 2-11および表 2-12に記載する。

表 2-11 検収区分コード (05042)

コード	説明
3	過不足無し
4	過納受入
5	不足打切
6	重量精算
7	重量精算対象過不足無し

表 2-12 検査区分コード (05088)

コード	説明
0	検査無し

2.8.3. SAP関連共通コードの変更

製品名(SAP)を用いていた共通コードの名称変更および整理を行った。

- ① 支払区分コードSAPのデータ項目名を、表 2-13 および表 2-14 に示すように支払期日区分コードに変更し、コードを再付番した。

表 2-13 支払区分コードSAPの名称変更

旧データ項目名	新データ項目名
支払区分コード SAP	支払期日区分コード

表 2-14 支払期日区分コード (06100)

旧コード	新コード	説明
0000	10	即日支払、(期日指定)
251P	20	25日締、翌月25日支払
251V	21	25日締、翌月末支払
252V	22	25日締、翌々月末支払
300V	30	当月末支払
301F	31	月末締、翌月15日支払
301V	32	月末締、翌月支払
3025	33	月末締、翌々月5日支払
302F	34	月末締、翌々月15日支払
302V	35	月末締、翌々月末支払
303V	36	月末締、3ヶ月後末日支払
MG1V	40	月末締、翌月末支払(支払計画)
MH1V	41	月末締、翌月末支払(保留金)
MK1V	42	月末締、翌月末支払(均等払い)
MA1V	43	月末締、翌月末支払(支払計画)グループ会社
T000	50	半金半手その他(期日指定)
B000	51	納付書支払(期日指定)
C000	52	口座振替(期日指定)
E000	53	個別支払(期日指定)
KT00	54	旅費立替金(期日指定)

- ② 消費税区分SAPを、表 2-15 に示すように消費税区分コードに統合し、コードを再付番した。

表 2-15 消費税区分コード (00057)

旧コード	新コード	共通コードの意味
1	01	税込み
2	02	税抜き
5A	11	5% 課税売上
5B	12	非課税売上(5%)
5C	13	5% 課税仕入
5E	14	非課税仕入(5%)
5F	15	輸出(5%)
5G	16	輸入(5%)